

# フレッシュさん2026

真壁病院・看護師

木村

瑚慧さん(21)

「地元の子なんだね。頑張ってるね」「木村さんに担当してもらって良かった」。患者さんから声をかけてもらえると、病院になじめてきたのだと実感するという。「覚えなければいけないことが多く大変だが、仕事の幅が広がるのでモチベーションも高まる」と前向きに励む。

東松島市矢本出身。幼少期に真壁病院で患者に寄り添う看護師たちの姿を見たことや、母が看護師だったこともあり、看護の道を志した。石巻好文館高から仙台市医師会看護専門学校に進み「地域と深く関わりながら技術を習得できる場所で働きたい」と同病院に就職した。

入院患者の電子カルテを確認し、血圧測定や採血などに当たる。初めは先輩看護師に指導を

## 心から寄り添う人に

受けながらだったが、3カ月たった現在は技術が向上し、点滴を1人で担当できるようになった。

先輩の姿を見ている中で「患

者さんの表情など、小さな変化に気づけているのがすごい」と感心する。積極的にアドバイスを求め「時間が許す限り、言葉一つ一つに耳を傾けたい。患者さんに心から寄り添い、信頼されるのが理想の看護師像になった」と話す。

災害医療にも関心があり、災害派遣医療チーム(DMAT)に参加する資格を持つ同病院の医師の仕事を見学したり、自宅で関連書籍を読んだりしているという。「可能性を広げるためにどんな仕事にも挑戦し、力に変えていきたい」



点滴の準備をする木村さん(写真撮影時のみマスクを外しました)